

ワザを磨き、安らぎをつむぎ、シンカするまちへ



市議会3月定例会議で、田中市長が新年度の市政運営の基本方針を表明しました。今号ではその概要を紹介します。

施政方針の詳細はこちら▶



問 政策企画課 ☎23-3060

● 新たな安来市への“シンカ”

令和8年度から令和12年度までを計画期間とする「第3次安来市総合計画」がスタートします。新たな総合計画では、目指すまちの将来像として、「ワザを磨き、安らぎをつむぎ、シンカするまち」を掲げています。安来に受け継がれる魅力的な独自の「ワザ」を生かし、地域の価値を見つめ直す「真価」、多様なつながりを深める「深化」、次の時代へ挑戦する「進化」の3つの“シンカ”を基本姿勢として、オール安来で未来に向けた取り組みを進めます。

また、人口減少対策は「第3期安来市創生総合戦略」に掲げる次の5つの基本目標を柱として、人口減少の抑制と市民の暮らしの満足度向上を目指します。

- 若者や女性にも選ばれる安来市をつくる
- 地域資源を活用した産業振興を推進する
- 安心して暮らせる安来市をつくる
- 一人ひとりが活躍できる安来市をつくる
- AI・デジタルなどの新技術が活用される安来市をつくる

● 次の世代につなげるまちづくり

○ 産業の拡大による地域活性化

産業拡大の契機となる「安来スマートインターチェンジ(仮称)」の整備や、株式会社出雲村田製作所の工場立地など、新たなまちづくりに向けた事業を着実に進めます。定住にかかせない生活の基盤となる雇用の場を確保していきます。

○ 雇用の確保と若者の定住意識の醸成

地域産業を支える人材を確保するため、新たに「安来市雇用対策協議会(仮称)」を設立し、市内企業の人材確保を支援します。また、若者に「安来に住み続けたい」と思ってもらえるよう、高校魅力化事業や県立大学との連携を通じて若者と地域のつながりを深め、定住意識の醸成と市内への就職を促進します。



◀ 安来スマートインターチェンジ(仮称)事業地

○ 人口減少に対応した持続可能なまちづくり

人口減少を見据え、将来にわたって安心して暮らせる持続可能なまちづくりを進めます。小中学校の適正配置を進めるほか、安来市立病院の地方独立行政法人化に向けた準備や、市外からの県立高校生を受け入れる住まいの整備など、将来を見据えた体制づくりに取り組みます。

①保健・医療・福祉

フレイル予防の推進

後期高齢者のフレイル調査や専用アプリで、心身の衰えを早期発見。SNSでの動画発信や新たな通いの場づくりで、健康寿命を延ばします。



地域の通いの場で、フレイル予防

①保健・医療・福祉

介護人材の確保

介護福祉士の資格取得費助成を新設するとともに、外国人材の受入支援も進めます。担い手確保と定着を後押しし、質の高い介護サービスを維持します。



地域の介護を担う人材を育成

①保健・医療・福祉

医療DXの推進

マルチタスク車両を活用し、無医地区でのオンライン診療を実施します。救急においては、鳥取大学と遠隔医療での連携を強化します。



奥田原地区でのオンライン診療が本格稼働

②子育て・教育・文化

やすぎ・ママサポ 119

妊婦の出産予定日や医療機関等を事前登録する制度を開始します。緊急時の救急搬送を迅速化し、安心して出産できる環境を整えます。(詳細は20p)



事前の登録で、もしもの時も安心

②子育て・教育・文化

5歳児健診をスタート

乳幼児健診に加え、新たに5歳児健診を開始します。子どもの特性を把握して適切な支援につなげ、就学に向けた保護者の不安を軽減します。



乳幼児健診の様子

②子育て・教育・文化

小学校給食費の無償化

国の交付金を活用し、令和8年度は小学校給食費を無償化します。食材高騰分は市が支え、保護者の負担を軽減しつつ、給食の安全と質を守ります。



安心・安全な給食で、児童の成長を支援

- ①保健・医療・福祉
 - ・地域医療を支える人材を確保するため、医学生や薬学生、看護学生等へ奨学金を貸与します。また、医療従事者との交流会を開催します。
 - ・複雑化した生活課題等に対し、支援機関が協働し包括的支援を行う重層的支援体制の構築を進めます。
 - ・安来、広瀬、伯太の各地域に認知症地域支援推進員を配置し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援します。
 - ・養護老人ホームを移転し、名称を「鴨来荘」から「ふるかわ」へ改め、新たな施設での運営を開始します。
 - ・子ども食堂の新規開設や運営を積極的に支援するとともに、物価高騰の影響を受ける運営団体に対して新たな補助金を交付します。
- ②子育て・教育・文化
 - ・市外の医療機関で出産する妊婦の不安や負担を軽減するため、出産先の医療機関周辺に滞在する宿泊費を助成します。
 - ・妊産婦へ育児用品を直接お渡しするほか、金芽米やデジタルギフトを贈呈し、妊娠・出産期の負担を軽減します。
 - ・スマートフォン等から病児保育施設の空き状況を確認し、24時間いつでも利用予約ができるシステムを新たに導入します。



③防災・防犯

防災対策の充実

災害に備え、食料や毛布などの防災備蓄品を計画的に確保します。水位監視カメラを増設し、迅速な避難行動と被害軽減につなげます。



じゃほみ蛇喰川(東母里)のカメラ映像

②子育て・教育・文化

和鋼博物館の改修

和鋼博物館は4月から3年あまり休館し、空調の大型熱源設備などを改修します。展示改修も進め、たたらとハガネの魅力を発信します。



より多くの人に安来市の歴史、文化の価値を伝える博物館へ

②子育て・教育・文化

こども誰でも通園制度

生後6カ月～3歳未満児を対象に、就労要件を問わず月10時間まで保育所等を利用できる「こども誰でも通園制度」を4月から開始します。



毎日の子育てをサポート

④産業・観光・雇用

林業人材の育成

伯太町の人材育成拠点で、技能講習や市民参加の森林教室を開催します。あわせて、拠点内のモデル林の整備も進め、人材を育てます。



地域の森を守る、新たな人材の育成

④産業・観光・雇用

高校魅力化を推進

高校魅力化推進員を配置し、高校生と地域の協働活動を支援します。県立大学と連携したキャリア講座を実施し、地域の将来を担う人材を育てます。



KENDAI 未来アトリエ(市内高校×島根県立大学)

④産業・観光・雇用

企業立地を促進

市内への企業立地や事業拡大を支援するため、設備投資や造成費などを助成します。安定した雇用の創出と、地域経済の活性化を図ります。



株式会社アメイズ(HOTEL AZ運営)の立地計画認定式

- ・教職員の事務負担の軽減と教育の質の向上を目指し、ICTを活用した学びや校務のデジタル化を進めます。
- ・令和12年度開催予定の国スポ等に向け、市民体育館などの施設改修に向けた基本計画を策定します。
- ③防災・防犯
 - ・災害発生時の情報を消防団員のスマートフォンへ迅速に一斉伝達し、出動状況の把握や事務処理の効率化を図ります。
- ④産業・観光・雇用
 - ・首都圏のIT企業などの誘致に向け、お試しサテライトオフィスなどの独自支援策を活用し、雇用の創出を図ります。
 - ・安来節保存会支部の無い九州地方で安来節の公演や市のPRを行い、認知度の向上と保存会会員の増加につなげ、魅力発信を進めます。
 - ・市の特産であるいちごの産地づくりを進めるため、生産基盤の強化や担い手育成を支援します。
 - ・全国和牛能力共進会での好成绩に向け、関係機関と連携し、種牛の飼養管理や調教の指導等を強化します。
 - ・クマ出没など緊急時に備え、一定の要件下で実施できる緊急銃猟の体制整備や訓練を実施します。

⑤都市基盤・生活

空き家対策の推進

空き家の除却助成を拡充し、令和10年度まで補助上限を引き上げます。解体後の固定資産税減免や管理事業者登録制度を設け、適正管理を推進します。



空き家対策を進め、安全な住環境へ

⑤都市基盤・生活

バスの運行を見える化

スマートフォン等でイエローバスの運行状況が分かるシステムを一部路線で試験導入します。待ち時間の不安を解消し、利便性を高めます。



システムの導入で、より乗りやすいバスへ

④産業・観光・雇用

農業を守る防除支援

深刻な農業被害をもたらすカメムシから農作物を守るため、防除にかかる経費を支援します。被害の軽減を図り、持続可能な農業を後押しします。



ドローンを活用した防除作業

⑦参画・協働・行財政

地域の拠点を整備

老朽化が課題となっている山佐交流センターを、旧山佐小学校へ移設します。令和8年度は調査設計を進め、安全で快適な地域活動の拠点を守ります。



移転先の旧山佐小学校校舎

⑥自然・環境保全

持続可能なごみ処理へ

災害時の迅速なごみ処理を見据え、市の基本計画を改定します。ごみの減量化を進めるとともに、処理体制や搬入手数料の見直しを検討します。



ごみの減量を進め、持続可能な処理体制へ

⑤都市基盤・生活

災害に強い水道へ

上下水道耐震化計画等に基づき、重要施設につながる管路の耐震化を最優先に進め、災害時にも水の供給が絶たれない強靱な水道を目指します。



災害に備え、水道管の耐震化を進めます

⑦参画・協働・行財政

- ・市が所有する未利用の公共施設などの情報を公開し、民間事業者から利活用の提案を受けて事業化を検討する「民間提案制度」を運用します。
- ・広瀬地域センターは令和8年末に健康福祉センター2階へ移転するため改修を行います。また、広瀬・伯太庁舎の宿日直体制を安来庁舎へ集約します。

⑥自然・環境保全

- ・太陽光発電などの再生可能エネルギー事業と地域の共生を図るため、自然環境や生活環境の保全に向けた条例の制定を目指します。

⑤都市基盤・生活

- ・安来の魅力ある景観を守るため、有識者による委員会を設置し、景観計画の策定と景観条例の検討を進めます。
- ・環境を整えます。
- ・山間部などの不感地域の解消に向け、移动通信用の基地局（鉄塔）を整備し、携帯電話がつながりやすい環境を整えます。
- ・市が設置する公共浄化槽の新規受付を令和8年度末で終了し、補助金を活用した個人設置へ移行します。
- ・通学路や生活道路の安全性と利便性を高めるため、安来港飯島線などの道路改良を進め、円滑な通行環境を整えます。